

地域に根ざした研究を進めています

秋 田 県 果 樹 試 験 場

Akita Fruit-Tree Experiment Station

【 要 覧 】



本 場



天王分場



かづの果樹センター

～秋田は高品質な果実の生産地～



リンゴ



モモ



ニホンナシ



ブドウ



オウトウ

秋田県は、北東北の日本海側で北緯40度線が県中央を横断し、南北に181km、東西に111kmにおよび、気象、土壌などが異なる地域で果樹栽培が行われています。

果樹試験場は、県果樹産業の振興に貢献する技術開発を行う目的で設置され、本場（県南部）、天王分場（県中部）、かづの果樹センター（県北部）が緊密な連携の下に試験研究と果樹産業の担い手育成を実施しています。

沿革

■本 場

大正13年 秋田市八橋に農事試験場が果樹試験地を設置
昭和32年 八橋果樹試験地を廃止し、平鹿郡醍醐村（現、横手市）に秋田県果樹試験場を設置
昭和38年 係・科制を置く（庶務係、栽培科、園芸化学科、病害虫科）
昭和49年 品種改良科を設置
昭和57年 全面改築、竣工
昭和58年 部制を置く（管理部、栽培部、環境部）
平成18年 秋田県農林水産技術センター果樹試験場（管理室、リンゴ部、特産果樹部）に改称
平成19年 分場が管理室の下に置かれ、鹿角分場班、天王分場班に改称
平成24年 秋田県果樹試験場に改称、管理室を総務企画室に改称
平成26年 リンゴ部、特産果樹部を品種開発部、生産技術部に再編

■天王分場班

昭和33年 南秋田郡天王町に秋田県果樹試験場天王分場を設置
昭和60年 全面改築、竣工
平成18年 秋田県農林水産技術センター果樹試験場天王分場に改称
平成19年 天王分場班に改称
平成24年 秋田県果樹試験場天王分場班に改称

■かづの果樹センター（鹿角地域振興局農林部農業振興普及課果樹産地支援班）

昭和32年 鹿角郡花輪町（現、鹿角市花輪）に秋田県果樹試験場花輪分場を設置
昭和53年 花輪分場を鹿角分場に改称
昭和55年 鹿角市合の野から小坂野に改築移転
平成18年 秋田県農林水産技術センター果樹試験場鹿角分場に改称
平成19年 鹿角分場班に改称
平成22年 鹿角分場班を鹿角地域振興局農林部農業振興普及課果樹産地支援班（かづの果樹センター）として再編

位置・気象

本県の県庁所在地である秋田市の年平均気温は11.9℃、年降水量は1,935mm、日照時間は1,600時間です。果樹試験場本場、天王分場、かづの果樹センターの気象は下表のとおりです。

	本 場 横手市	天王分場 湯上市	かづの果樹センター 鹿角市
年平均気温	10.9℃	11.6℃	9.4℃
年降水量	1,705 mm	1,427 mm	1,356 mm
日照時間	1,177 時間	1,236 時間	1,259 時間
最深積雪	221 cm	53 cm	76 cm
消 雪 日	4月4 日	3月26 日	4月1 日
土 壌	多湿黒ボク土	砂丘未熟土	黒ボク土
標 高	85 m	7 m	155 m



リンゴの花

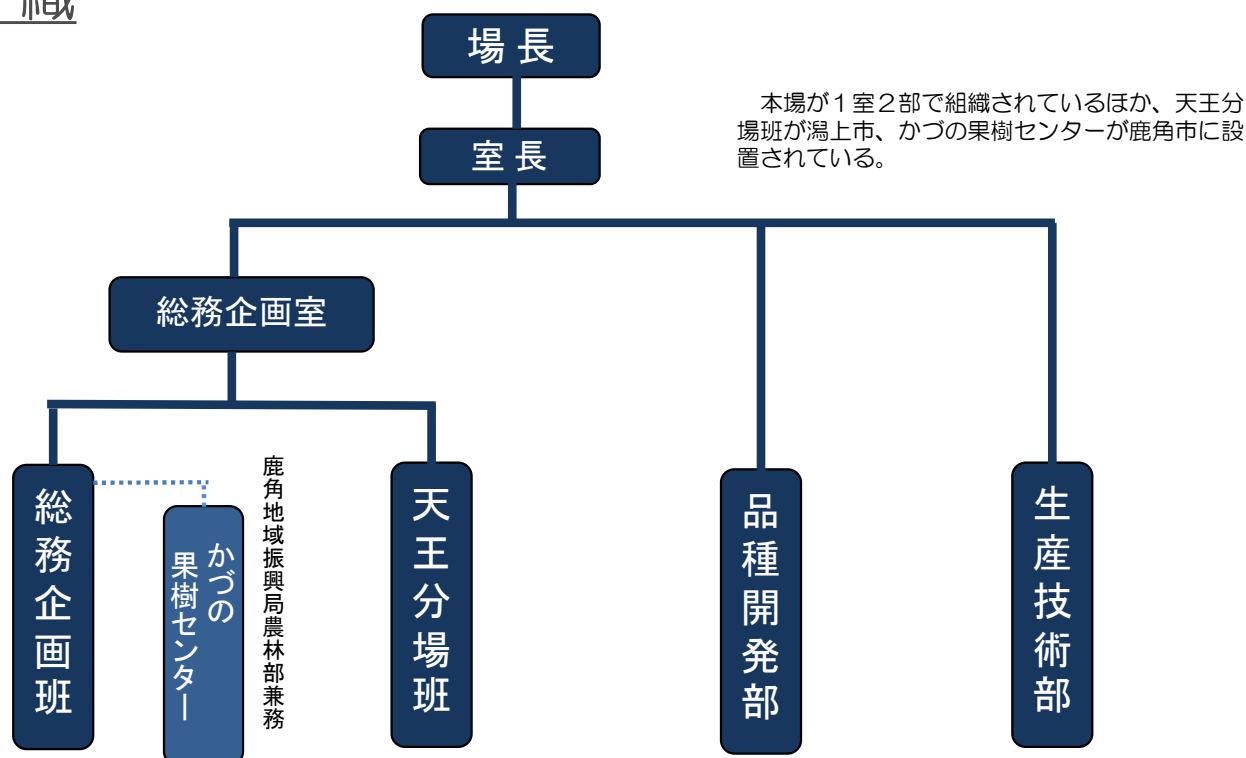


モモの花



おうとうの花

組 織



施設の概要

本場は7haを超える規模を有し、リンゴを主体としながらブドウ、オウトウ、モモなどが栽培されています。また、天王分場はニホンナシ、かづの果樹センターはリンゴとモモが主な樹種となっています。

■用 地

* 2022年4月現在

区 分	本 場	天王分場	かづの果樹センター
ほ 場	67,120 m ²	38,000 m ²	83,000 m ²
建 物 敷 地	2,724 m ²	1,598 m ²	1,774 m ²
道路・防風林・他	8,082 m ²	59,645 m ²	19,380 m ²
計	77,926 m ²	99,243 m ²	104,154 m ²

■樹種別ほ場面積

* 2022年4月現在

区 分	本 場	天王分場	かづの果樹センター
リ ン ゴ	43,300 m ²	0 m ²	30,000 m ²
ナ シ	1,200 m ²	12,000 m ²	0 m ²
ブ ド ウ	6,930 m ²	1,200 m ²	0 m ²
オウトウ	5,400 m ²	0 m ²	0 m ²
モ モ	4,960 m ²	0 m ²	14,300 m ²
ブルーベリー	1,000 m ²	0 m ²	2,000 m ²
そ の 他	4,330 m ²	24,800 m ²	36,700 m ²
計	67,120 m ²	38,000 m ²	83,000 m ²

品種開発部



リンゴ新品種の育成と本県の気候風土に適した樹種及び品種・系統の選定、秋田県オリジナル品種の栽培技術や貯蔵技術を開発します。

【主要な研究課題】

- 1 果樹産地再生の基盤となる新品種の育成と選抜
- 2 園地更新や新規参入を促す新たな果樹栽培技術に適応する品種の選抜
- 3 オリジナル品種の普及定着のための果実特性の調査や栽培方法の研究
- 4 県内産果実の長期貯蔵技術の開発



みつ入りが多く貯蔵性の高い黄色品種

■県育成リンゴ品種「秋田19号」



■新品種育成のための食味調査



一文字短梢せん定に適した赤系ブドウの検討

8月中下旬収穫の良食味モモ品種の検討

■ブドウ、モモの品種比較試験



氷温貯蔵の「秋泉」と1-MCP処理した「秋田紅あかり」

■長期貯蔵技術の開発



生産技術部

気候変動に対応した高品質果実安定生産技術の確立、省力で平易な果樹栽培を実現するスマート農業の実現に向けた技術の実証と開発、環境に調和し持続可能な生産管理技術を確立します。

【主要な研究課題】

- 1 多雪地帯におけるリンゴジョイント栽培の生産性及び耐雪性評価
- 2 果樹栽培のスマート化を図る機械化と管理技術の実証
- 3 果樹園の新たな耐雪技術の開発
- 4 リンゴの土着天敵フル活用のための持続可能な環境負荷低減防除体系の構築



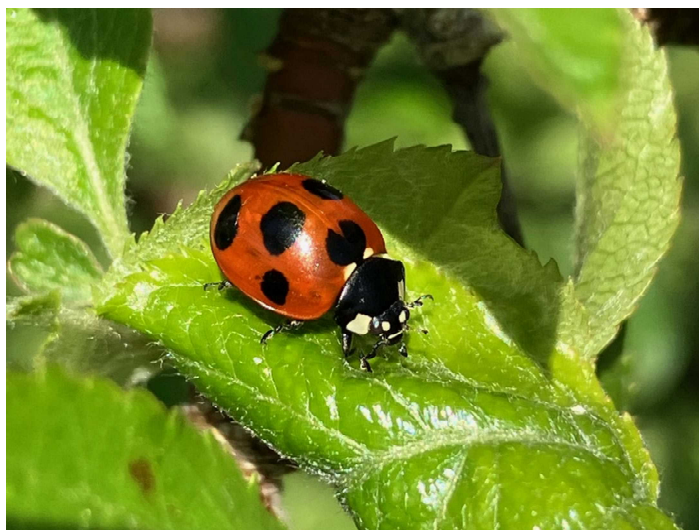
■リンゴのジョイント栽培



■リンゴの摘花・摘果補助システム開発



■木柱によるリンゴの雪害防止技術



■リンゴ園の天敵保護利用

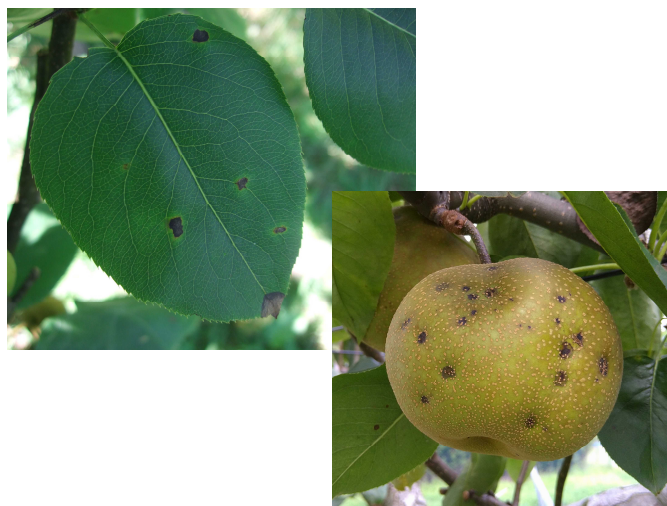


天王分場班

県中央部の環境条件に適合するナシの新品種選抜と高品質安定生産技術、病虫害防除技術を確立します。

【主要な研究課題】

- 1 ニホンナシ黒星病の総合防除法の確立
- 2 ニホンナシ新品種の特性把握と優良品種の選抜
- 3 果樹栽培のスマート化を図る機械化と管理技術



■ニホンナシ黒星病防除技術



■ニホンナシの新品種・系統適応性調査



■県育成ニホンナシ品種「秋泉」



■自走式草刈機による省力性評価



かづの果樹センター

県北部の環境条件に適合する樹種や品種の探索、導入及びそれらの栽培管理法や病害虫防除法を確立します。

【主要な研究課題】

- 1 県北部に適したリンゴ、モモ、ブドウ等の品種の探索
- 2 モモの幼木期における安定生産技術の開発
- 3 世界的な輸出規制の厳格化に対応した果樹の防除体系の確立



■リンゴ、モモ、ブドウ等の品種の探索



■モモ幼木期の安定生産技術の開発



■輸出の規制に対応した防除体系の確立



トラクターによる
剪定枝の収集



自走式草刈機

■省力化を目指した機械の導入試験

【本場ほ場配置図】

ほ場1号から32号まで区分され樹種や試験内容によって効率的に配置されています。

令和4年4月現在

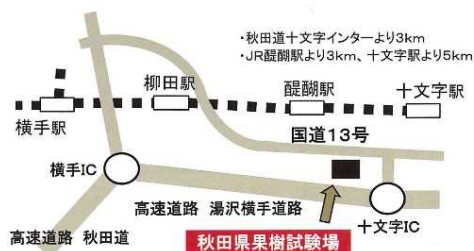


【本場】

〒013-0102

横手市平鹿町醍醐字街道下65

TEL 0182-25-4224 FAX 0182-25-3060

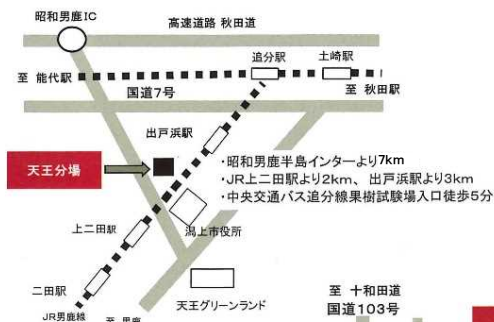


【天王分場】

〒010-0201

潟上市天王字鶴沼台43

TEL 018-878-2251 FAX 018-878-7446



【かづの果樹センター】

鹿角地域振興局農林部農業振興普及課 果樹産地支援班

〒018-5201

鹿角市花輪字小坂野3-12

TEL 0186-25-3231 FAX 0186-25-3232

